

東海東京財団ニュース

2024年7月24日

各位

一般財団法人 東海東京財団
愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1

一般財団法人 東海東京財団 2024年度「祭礼行事伝承助成」助成対象先を決定

一般財団法人 東海東京財団（2016年8月設立、理事長 石田建昭）は、地域の将来を担う人材やグローバルに活躍できる人材の育成、また、地域社会において、国際経済や社会への理解を促す機会の創出、文化・芸術振興などを通じて、地域社会の将来の発展に寄与することを目的といたしております。

愛知県内各地の祭礼行事が、末永く保存・伝承され、発展していくことを願い、2024年3～5月にかけて「祭礼行事伝承助成」の公募を行ないました。合計5件のご応募があり、厳正なる選考の結果、5件の助成対象先（別紙参照）を決定いたしましたので、ここにお知らせいたします。

なお、本助成事業は8年目であり、累計59件、21,680千円の実績となります。

2024年度「祭礼行事伝承助成」について

1. 実施背景

2016年11月、全国で33件の「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。そのうち、愛知県には全国最多の5件が所在しております。登録により文化的価値が改めて広く認識されるとともに、地元の活性化、伝統文化全体への波及効果なども期待されます。

こうした「山・鉦・屋台行事」に限らず、地域社会に伝わる各種の祭礼行事が県内各地に存在しておりますが、一方で、こうした行事を保存・伝承していくうえでの若い後継者の不足が懸念されているほか、その保存・伝承を継続していくうえでの経済的な支援が求められている状況です。

2. 公募方法および申込期間

公募方法：各自治体の教育委員会等を推薦窓口とし、愛知県県民文化局に書類提出。

申込期間：2024年3月25日～5月31日

3. 助成対象

愛知県内に存在する伝統的な祭礼行事および民俗芸能等の保存・伝承、後継者の育成のための活動に努めており、下記の項目に該当する団体に対して支援いたします。助成対象となる経費は「用具購入・修繕費、製作材料費等」のみとします。

- (1) 2024年3月までに、申請した費用の支出を予定していること。
- (2) 団体の負担以外に外部からの資金協力が緊急不可欠であること。
- (3) 市町村教育委員会または市町村文化財保護行政担当部局の推薦がある団体であること。但し、推薦枠は各市町村につき2件までとします。
- (4) 次に該当するものは、すべて対象外とします。
 - ① 過去に本財団から助成を受けている団体
 - ② 2件を超えて推薦をした市町村に属する団体
 - ③ 2023年度、「用具購入・修繕費、製作材料費等」について外部から助成を受けている団体、および2024年度に同費用について外部から助成を受けることが決定している団体

4. 助成対象者の決定

本財団の事務局において応募書類等の審査の後、理事会（2024年7月24日）における承認のうえ決定。

5. 助成決定件数および助成額

- ・2024年度「祭礼行事伝承助成」 助成申込件数、決定件数および助成金額

申込件数	決定件数	助成金額
5件	5件	1,665千円

※助成決定先、助成金額内訳は別紙をご参照ください。

以 上

(別紙) 2024年度「祭礼行事伝承助成」助成先一覧

5件 1,665千円

(敬称略)

[交付先]

番号	市町	団体名(カナ)	助成内容	助成金額 (千円)
		行事名	概要	
1	常滑市	オクジョウク 奥条区 行事名:常滑地区祭礼 (とこなめの春祭り)	・提灯本体80個、提灯用LED(150個)の購入 日露戦争の際の勝利を祝い、戦没者を追悼するため、6つの地区が参加する山車祭り。各地区は木彫りや水引幕で飾り付けた山車を曳きながら、お囃子や太鼓の演奏と共に町を練り歩く。所有する山車(常石車)は平成30年に「有形民俗文化財」として常滑市から指定されている。	500
2	美浜町	コウワク 河和区 行事名:河和まつり	・昼山(山車後方下駄箱)、夜山(山車下部柵)の修繕 創建1576年(天正4年)建立の河和天神社において、江戸後期に豊作祈願と感謝の為、田植えを終えた6月23・24日の農休みに山車を引き回していたが、明治維新後、国の統制を経て、現在の4月第1土日に行われている。町指定文化財に指定されている北組・中組の山車を天神社に曳き入れ「からくり」奉納を行うもの。	95
3	美浜町	ノマギョシャホゾンカイ 野間御車保存会 行事名:野間「神武祭」山車まつり	・3尺平銅和太鼓の購入 2012年に野開の氏神神明神社と富具神社の例祭「神武祭」に山車を建造、曳き廻された事で祭りに参加する人・見物する人は増えて現在も継続している。この活動を継続する事で、地域を活性化ならびに祭礼行事の伝承へ繋げていく。	500
4	半田市	シモハンダアズマグミ 下半田東組 行事名:業葉神社御例祭行事	・長胴太鼓の打面(革)張替、囃子方祥纏と衣装新調補充 下半田祭礼の起源については、古文書に元文4年(1739年)5月と記されており、山ノ神社秋例祭・業葉神社元旦祭・初午祭の道往きと御神楽奉納業葉神社御例祭の山車囃子と御神楽を奉納している解決していきたい課題である。	209
5	半田市	ナラワダイサンク 成岩第三区 行事名:成岩神社例大祭における 巫女舞奉納	・巫女舞の提灯の取替、高張提灯の取替、太鼓の皮の張替 前年の巫女を師匠(6名)とし、ほかに指導者(10名程度)が当年の巫女(幼稚園年長の女子6名)に指導を行う。 祭礼前日には、神楽の生演奏により稽古上げを行う。 巫女舞は、五穀豊穡と氏子の家内安全と繁栄を祈願して拝殿横の舞台にて奉納されている。	361

以上